

看護教育 第21巻 総目次

1980年1-12号

(分類は第13巻 第5号「特集・文献集録」に準じ、表示は題名：筆者名、号数、ページ数を表す)

教育原論に関するもの

- 特集・個を生かす教育への歩み I. 看護教育の現在 講義——教育方法としての有効性を考える：Jean Hayter, 小野和男訳, 1, 12-18.
- 特集・個を生かす教育への歩み II. 個を生かす教育をめざして 〈対談〉教育の基本となるもの：東洋・小野殖子, 1, 19-36.
- 特集・個を生かす教育への歩み II. 個を生かす教育をめざして 〈教育実践レポート〉個にそくした教育が成立する基盤 私の教育体験から：野明金一郎, 1, 37-42.
- 特集・個を生かす教育への歩み II. 個を生かす教育をめざして 〈教育実践レポート〉個を生かす学習を求めて 全校体制の中で取り組んだ教育実践：長野県大町市立仁科台中学校, 1, 43-53.
- 特集・個を生かす教育への歩み II. 個を生かす教育をめざして 〈教育実践レポート〉教育評価の研究：若狭喜作, 1, 54-68.
- 新教育課程と教育研究：東洋, 4, 211-222.
- 特集・教育の新しい時代へ ひらかれた学習環境の創造 これからの教育と教育学 体験的教育論の試み：山田勉, 5, 275-288.

看護教育原論に関するもの

- 特集・個を生かす教育への歩み I. 看護教育の現在 看護教師に問われるもの ヒューマニズムと行動主義のはざままで：Susan L. Carter, 本誌編集部訳, 1, 7-11.
- 特集・個を生かす教育への歩み I. 看護教育の現在 講義——教育方法としての有効性を考える：Jean Hayter, 小野和男訳, 1, 12-18.
- 特集・個を生かす教育への歩み II. 個を生かす教育をめざして 〈対談〉教育の基本となるもの：東洋・小野殖子, 1, 19-36.
- 私の発言 責任の帰属をもっと自分に：八頭司史江子, 2, 69-73.
- 看護研修学校同窓会第5回研修セミナー報告・2 グループ討議・II 看護教師と看護実践：佐藤蓉子・ほか, 2, 86-97.
- 私の発言 看護学生の意識と看護教育 全国調査の結果から：島本忠義, 3, 133-137.
- 特集・教育の新しい時代へ ひらかれた学習環境の創造 新しいナース これからの教育へのアプローチ：Jean Heath, 石井秀夫訳, 5, 289-292.

- 特集・教育の新しい時代へ ひらかれた学習環境の創造 技術革新の時代にあって看護の本質を守り通すために：Virginia Henderson, 武山満智子訳, 5, 293-301.
- 特集・教育の新しい時代へ ひらかれた学習環境の創造 対話 いま教育の場で遭遇していること：小野殖子・池川清子, 5, 302-314.
- 特集・教務主任——その人と仕事・第二部 体験レポート・5 看護という専門性が歪めているもの：久保成子, 10, 612-617.
- 看護における大学院修士課程開設の意義：近藤潤子, 11, 681-684.
- 看護教育随想 死の断崖を超えて 看護および看護教育の見直し・問い直し：黒川肇, 12, 739-745.

進学課程・高等学校専攻科に関するもの

- 私の発言 2年課程の看護教育を経験して：永江宏子, 6, 333-336.
- 特集・進学課程における看護教育 進学課程における継続教育を考える 学生の意識調査をふまえて：清水光子・ほか, 8, 466-473.
- 特集・進学課程における看護教育 進学課程教育の問題点を探る 教育方法を中心として：中西睦子・ほか, 8, 474-488.
- 特集・進学課程における看護教育 進学課程教育の現状と今後の展望：久留米大学医学部付属看護専門学校, 8, 489-500.
- 特集・進学課程における看護教育 臨床実習成績に影響を及ぼす因子について 准看護婦実務経験の有無による比較を通して：皆川智子・ほか, 8, 501-510.
- 特集・進学課程における看護教育 高等学校専攻科における看護教育 現実を見つめる努力から問題解決を：浦崎美美子, 8, 511-517.
- 私の発言 進学課程教育がめざすもの 自主的に学ぶことへの援助：中村博子, 11, 657-662.
- 高等看護学院生の意識 公立能登総合病院付属高等看護学院の場合：村本信吾, 11, 698-704.

看護大学・大学院に関するもの

- 大学水準における保健看護教育内容の国際比較に関する検討 多変量解析による試み：赤松隆・ほか, 4, 223-233.
- 看護における大学院修士課程開設の意義：近藤潤子, 11, 681-684.

外国の看護教育に関するもの

メキシコ合衆国の看護教育制度：古瀬敬子，7，439-444.

教育技法・授業に関するもの

特集・個を生かす教育への歩み I. 看護教育の現在 講義——教育方法としての有効性を考える：Jean Hayter，小野和男訳，1，12-18.

患者のクライシス理解への学習過程 成人看護学実習レポート：大西一恵・ほか，7，401-409.

指導者のコメント 実習レポート‘患者のクライシス理解への学習過程’についての1，2の説明：野島良子，7，409-413.

教材の精選と範例方式について 成人看護学における一試案・1：高嶋久子，10，599-606.

個人差を重視した看護プロセス指導の試み 母性看護学実習を中心として：吉谷須磨子，10，635-643.

教材の精選と範例方式について 成人看護学における一試案・2：高嶋久子，11，663-675.

テスト・評価に関するもの

特集・個を生かす教育への歩み II. 個を生かす教育をめざして <教育実践レポート>教育評価の研究，若狭喜作，1，54-68.

基礎・教養科目に関するもの

幻覚の記録 私はなぜ‘ユングの世界’にひかれるか：飯島衛，2，74-78.

看護教育における解剖実習の一考察 解剖実習に教師はどうかかわるか：西嶋敬子・ほか，3，187-190.

教育キャンプのあり方に関する一考察：大蔵省印刷局東京病院付属高等看護学院，4，240-248.

特集・教育の新しい時代へ ひらかれた学習環境の創造 技術革新の時代にあって看護の本質を守り通すために：Virginia Henderson，武山満智子訳，5，293-301.

私の発言 医療のなかで考えること：石井文子，8，461-465.

病気のある風景・9 ひと言もしゃべらなかつた患者の部屋でのこと：徳永進，9，576-582.

看護婦像に関する一調査：藤原ヤスエ・ほか，10，624-633.

解剖学見学実習の進め方：村田一彰・ほか，11，676-680.

看護論についての哲学的ノート：中岡成文，12，728-737.

看護教育随想 死の断崖を超えて 看護および看護教育の見直し・問い直し：黒川肇，12，739-745.

専門科目に関するもの

成人看護学(外科)の教室内実習の展開 術前トレーニング(腹式呼吸)について：井山寿美子・ほか，

2，98-103.

コースアウトライン全体討議による看護学総論の展開・2 看護技術を中心として：佐藤礼子・ほか，2，104-115.

コースアウトライン全体討議による看護学総論の展開・3 看護技術を中心として：佐藤礼子・ほか，3，172-181.

母性看護実習の一展開・2 実習の初期から始める母性看護実習のあり方を検討する：矢本美子，3，182-186.

看護学生のアレルギー症に対する認識度に関する調査：谷直介・ほか，3，191-194.

病児の遊びに対する学生の視点の変化 自然観察法による観察を試みて：鈴木敦子，4，234-239.

コースアウトライン全体討議による看護学総論の展開・4 看護技術を中心として：佐藤礼子・ほか，4，249-255.

‘対象’の把握 その一側面としての‘生活’をどうとらえるか・1：小坂橋喜久代，5，315-320.

‘対象’の把握 その一側面としての‘生活’をどうとらえるか・2：小坂橋喜久代，6，376-383.

患者のクライシス理解への学習過程 成人看護学実習レポート：大西一恵・ほか，7，401-409.

小児看護実習の実践記録 看護過程記録を軸としての展開を行って・1：新田麗子，9，563-574.

私の発言 老人とはだれか：森幹郎，10，593-598.

教材の精選と範例方式について 成人看護学における一試案・1：高嶋久子，10，599-606.

個人差を重視した看護プロセス指導の試み 母性看護学実習を中心として：吉谷須磨子，10，635-643.

教材の精選と範例方式について 成人看護学における一試案・2：高嶋久子，11，663-675.

小児看護実習の実践記録 看護過程記録を軸としての展開を行って・2 新田麗子，11，685-697.

病気のある風景・11 できれば癌を知らせたい：徳永進，11，711-715.

Royal Brisbane Children's Hospital での小児看護体験，高尾みさ子，12，769-776.

母性看護実習の一展開・3 産婦の看護実習について：矢本美子・ほか，12，753-760.

臨床実習・臨床実習指導(者)に関するもの

私の発言 学生指導に問われる教師の姿勢 学生のレポートからの反省：阿神田節子，1，1-5.

母性看護実習の一展開・2 実習の初期から始める母性看護実習のあり方を検討する：矢本美子，3，182-186.

看護研修学校同窓会第5回研究セミナー報告・3 総括座談会 看護の基礎教育と現任教育：中井敏子・ほか，6，362-374.

私の発言 基本的な知識・技術の習得を 実習を実りあるものにするために：押尾美智，7，397-399.

患者のクライシス理解への学習過程 成人看護学実習レポート：大西一恵・ほか，7，401-409.

指導者のコメント 実習レポート‘患者のクライシス理解への学習過程’についての1, 2の説明：野島良子, 7, 409-413.

学生が患者との関係形成を築く過程で学べることは何か 実習中の受け持ち患者の交代に対するプロセスレコードの活用：阿神田節子, 7, 414-421.

臨床実習における看護技術経験の一考察：工藤ハツヨ・ほか, 7, 430-438.

小児看護実習の実践記録 看護過程記録を軸としての展開を行って・1：新田麗子, 9, 563-574. 個人差を重視した看護プロセス指導の試み 母性看護学実習を中心として：吉谷須磨子, 10, 635-643.

小児看護実習の実践記録 看護過程記録を軸としての展開を行って・2：新田麗子, 11, 685-697. 母性看護実習の一展開・3 産婦の看護実習について：矢本美子・ほか, 12, 753-760.

臨床指導者研修の1つの試み 自己成長の一過程として問題を意識するために：渡辺昌子・ほか, 12, 761-768.

公衆衛生看護・保健所実習に関するもの

〈保健所等実習〉における1つの試み 公衆衛生看護学科との連携による家庭訪問実習：宮城県総合衛生学院臨床看護学科, 7, 422-429.

訪問実習における学生の学習状況：小島通代, 12, 746-752.

付. 養護教諭

看護研修学校特殊研究・6 養護教諭の役割についての考察 ひとりひとりの児童が健康で学習できることをめざして：中幡祐子, 3, 161-171.

教務・教員・教員教育に関するもの

私の発言 学生指導に問われる教師の姿勢 学生のレポートからの反省：阿神田節子, 1, 1-5.

特集・個を生かす教育への歩み Ⅰ. 看護教育の現在 看護教師に問われるもの ヒューマニズムと行動主義のはざま：Susan L. Carter, 本誌編集部訳, 1, 7-11.

私の発言 責任の帰属をもっと自分に：八頭司史江子, 2, 69-73.

看護研修学校同窓会第5回研究セミナー報告・2 グループ討議・Ⅱ 看護教師と看護実践：佐藤蓉子・ほか, 2, 86-97.

看護研修学校同窓会第5回研究セミナー報告・2 グループ討議・Ⅱ 討議を終えて：宮武陽子, 2, 97.

私の発言 看護教員養成講習会に対するグループ学習の功罪：米丸由美子, 4, 205-209.

私の発言 専任教員の導標：江崎絹枝, 9, 533-538.

特集・教務主任——その人と仕事・第一部 体験レポート・1 蝸牛の歩みから：粥川志づ, 9,

539-546.

特集・教務主任——その人と仕事・第一部 体験レポート・2 学生の育つ課程に目をすえて：坪井良子, 9, 547-551.

特集・教務主任——その人と仕事・第一部 体験レポート・3 私たちの力で私たちの考える看護教育を：池野栄子, 9, 552-562.

特集・教務主任——その人と仕事・第二部 体験レポート・4 学生がわかることからの始まり：野村かず, 10, 607-611.

特集・教務主任——その人と仕事・第二部 体験レポート・5 看護という〈専門性〉が歪めているもの：久保成子, 10, 612-617.

特集・教務主任——その人と仕事・第二部 実用主義の時代のなかでのリーダーシップを考える 人間を基本においたリーダーシップとは何か：Sarah Fuller, 本誌編集部訳, 10, 618-623.

臨床指導者研修の1つの試み 自己成長の一過程として問題を意識するために：渡辺昌子・ほか, 12, 761-768.

学生・入試に関するもの

私の発言 看護学生の意識と看護教育 全国調査の結果から：島村忠義, 3, 133-137.

看護学校の入学試験について：坪井良子, 3, 138-144.

看護学生の学業成績に関する調査・その1 進学課程全日制の場合：松井清江・ほか, 3, 145-151.

看護学校の地域性と定着性について・1 奈良県立医科大学付属看護専門学校の入学生状況：中尾圭一・ほか, 3, 152-159.

進学課程における継続教育を考える 学生の意識調査をふまえて：清水光子・ほか, 8, 466-473. 進学課程教育の現状と今後の展望：久留米大学医学部付属看護専門学校, 8, 489-500.

臨床実習成績に影響を及ぼす因子について 准看護婦実務経験の有無による比較を通して：皆川智子・ほか, 8, 501-510.

看護婦像に関する一調査：藤原ヤスエ・ほか, 10, 624-633.

高等看護学院生の意識 公立能登総合病院付属高等看護学院の場合：村本信吾, 11, 698-704.

卒後教育・現任教育に関するもの

小特集・看護婦の成長を支える臨床 職場における教育・管理 実践記録Ⅰ・看護婦の成長に沿う卒後教育をめざして：富士田夏子, 6, 337-349.

小特集・看護婦の成長を支える臨床 職場における教育・管理 実践記録Ⅱ・私にとつての卒後教育 仕事と育児の隘路を超えて 未知に立ち向かう力の源泉：工藤忠子, 6, 351-354.

小特集・看護婦の成長を支える臨床 職場における教育・管理 実践記録Ⅱ・私にとつての卒後教育 看護婦の判断と行動の見直し：中村裕美,

6, 354-356.

小特集・看護婦の成長を支える臨床 職場における教育・管理 実践記録Ⅱ・私にとっての卒後教育 看護する視点の変化がもたらしたもの 准看教育を受けた私への活力：目黒幸子，6，356-358.

小特集・看護婦の成長を支える臨床 職場における教育・管理 実践記録Ⅱ・私にとっての卒後教育 自分を生かしながら働ける喜び：多田良子，6，358-361.

看護研修学校同窓会第5回研究セミナー報告・3 総括座談会 看護の基礎教育と現任教育：中井敏子・ほか，6，362-374.

特集・教務主任——その人と仕事・第二部 実用主義の時代のなかでのリーダーシップを考える 人間を基本においたリーダーシップとは何か：Sarah Fuller，本誌編集部訳，10，618-623.
臨床指導者研修の1つの試み 自己成長の一過程として問題を意識するために：渡辺昌子・ほか，12，761-768.

看護研究に関するもの

看護研究 その対象と方法：池川清子，2，79-85.

その他

病気のある風景・2 居宅療養の悲しさ：徳永進，2，117-123.

ルポルタージュ 女と靴下・17 稽古場にて 何が彼女をひき寄せるのか：鈴木俊作，2，124-129.

病気のある風景・3 日常の中の癌：徳永進，3，195-198.

ルポルタージュ 女と靴下・18 かまえなければならぬ人生でも，かまえることの無い美しさ：鈴木俊作，3，199-204.

病気のある風景・4 ペンタジン中毒：徳永進，4，256-263.

起爆と原点・1 序章：笹田鶴子，4，265-268.

私の発言 新卒日記：市川夫佐江，5，269-272.

病気のある風景・5 死の中の笑み：徳永進，5，321-327.

起爆と原点・2 第1話・いたわりのマキシム その1：笹田鶴子，5，328-332.

病気のある風景・6 地方勤務医の一日：徳永進，6，386-391.

起爆と原点・3 第1話・いたわりのマキシム その2：笹田鶴子，6，392-396.

病気のある風景・7 村の葬式：徳永進，7，446-452.

起爆と原点・4 第2話・昼の部と夜の役者たち その1：笹田鶴子，7，453-456.

病気のある風景・8 かえらない山，かえらない川：徳永進，8，519-524.

起爆と原点・5 第2話・昼の部と夜の役者たち その2：笹田鶴子，8，525-528.

病気のある風景・9 ひと言もしゃべらなかった患者の部屋でのこと：徳永進，9，576-582.

起爆と原点・6 第2話・昼の部と夜の役者たち その3：笹田鶴子，9，583-586.

病気のある風景・10 527号室 ひとり暮らしの人たち：徳永進，10，645-652.

手記 癌と闘う母の傍らで：小林早智子，11，705-710.

病気のある風景・11 できれば癌を知らせたい：徳永進，11，711-715.

私の発言 忘れられない出会い ある未熟児の看護を経験して：福井景子，12，721-727.

病気のある風景・12 ぼくは地方勤務医：徳永進，12，777-781.

BOOKS FROM ABROAD・BOOK REVIEW

‘死とターミナルケア’に関する文献を項目別に分類 M.A.Simpson 著 “Dying, Death, and Grief”：柏木哲夫，2，130.

死と対峙し，孤独感との闘いを真正面から観察 R.D.Abrams 著 吉森正喜訳 “がん患者の心——世話をする人々への指針”：佐藤紀子，2，131-132.

末期医療を総合的・具体的に記述 C.M.Saunders ほか編 “The Management of Terminal Disease”：季羽優文子，4，264.

看護判断のトレーニングに最適の書 N.A.Corbett ほか著 “Clinical Simulations in Nursing Practice”：近藤房忠，6，384.

〈末期ケア〉の考え方の整理に役立つ書 D.Doyle 編 “Terminal Care”：季羽優文子，7，457.

医療の本質を追求してやまないらい医の叫び 原田禹雄著 “麻痺した顔——らい医の検診カルテから”：千田好子，7，459-460.

明治維新にみる医の源流 木本至著 “医の時代——高松凌雲の生涯”：高橋政子，8，530-532.

看護概念を具体化し，より確かな実践の指標とする D.E.Orem 著・小野寺杜紀訳 “オレム看護論——看護実践における基本概念”：免田紀子，9，588-589.

死の理解を通して受容の勇気を与える書 E.S.シュナイドマン著・白井徳満ほか訳 “死にゆく時そして残されるもの”：長岡房枝，9，590-592.

薬物療法の適否を観察するナースの必携書 石崎高志著 “ナースに必要な新しい臨床薬理の知識”：福島龍子，10，655-656.

看護教育プログラム研究の有力な手がかり モイラ・アレン著・伊藤幸子ほか訳 “看護教育プログラムの評価”：清水嘉代子，11，717-718.

患者ケアの基礎技術習得に効果的 M.C.Anderson 著・荒井蝶子監訳 “プログラム学習 患者ケアの基礎”：土田和美，11，718-720.

過医療現象に鋭いメス イヴァン・イリッチ著・金子嗣郎訳 “脱病院化社会——医療の限界”：富田幾枝，12，783-784.